

永久標識の規格及び埋設方法

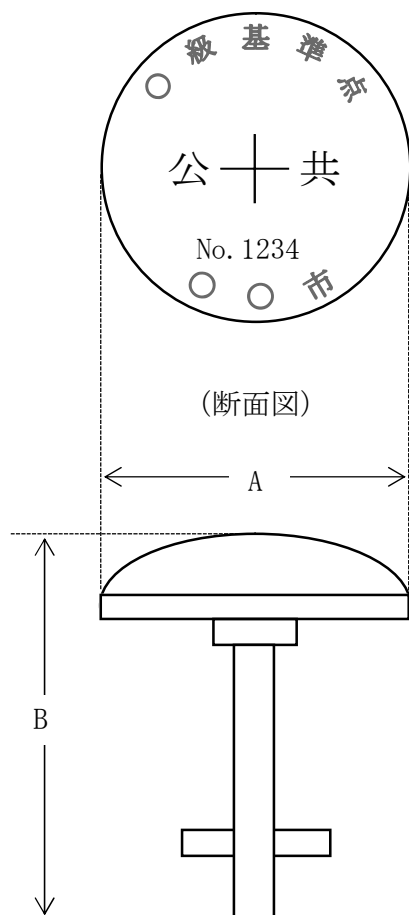
(1) 金属標の形状と標準規格

1) 地上、地下、屋上（その1）埋設用金属標

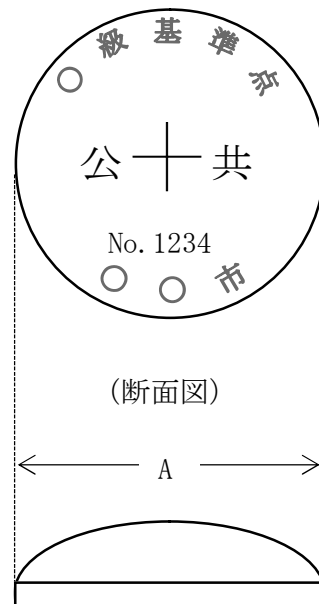
2) 屋上（その2）埋設用金属標

(平面図)

(平面図)



中央十印の下方に標識番号を記載する。



中央十印の下方に標識番号を記載する。

種 類 \ 区 分	A	B	材質
基準点金属標（その1）	8 ^{cm}	9 ^{cm}	真鍮・ステンレス
基準点金属標（その2）	8 ^{cm}	—	
水準点金属標	8 ^{cm}	9 ^{cm}	

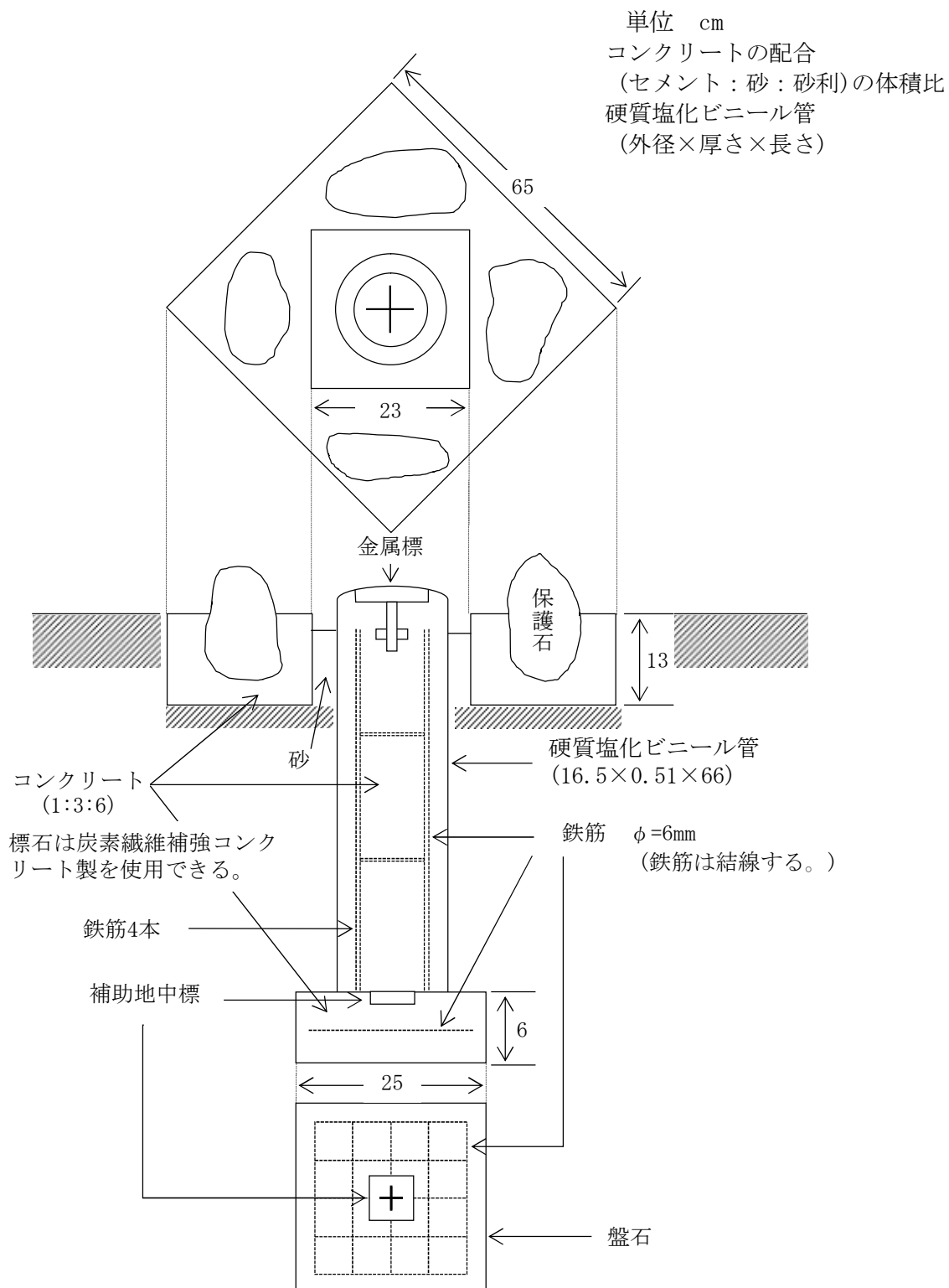
注1. 公共測量の測量標であること及び計画機関の名称を表示する。

2. 形状、品質等は、JIS B 7914-2 規格を標準とする。

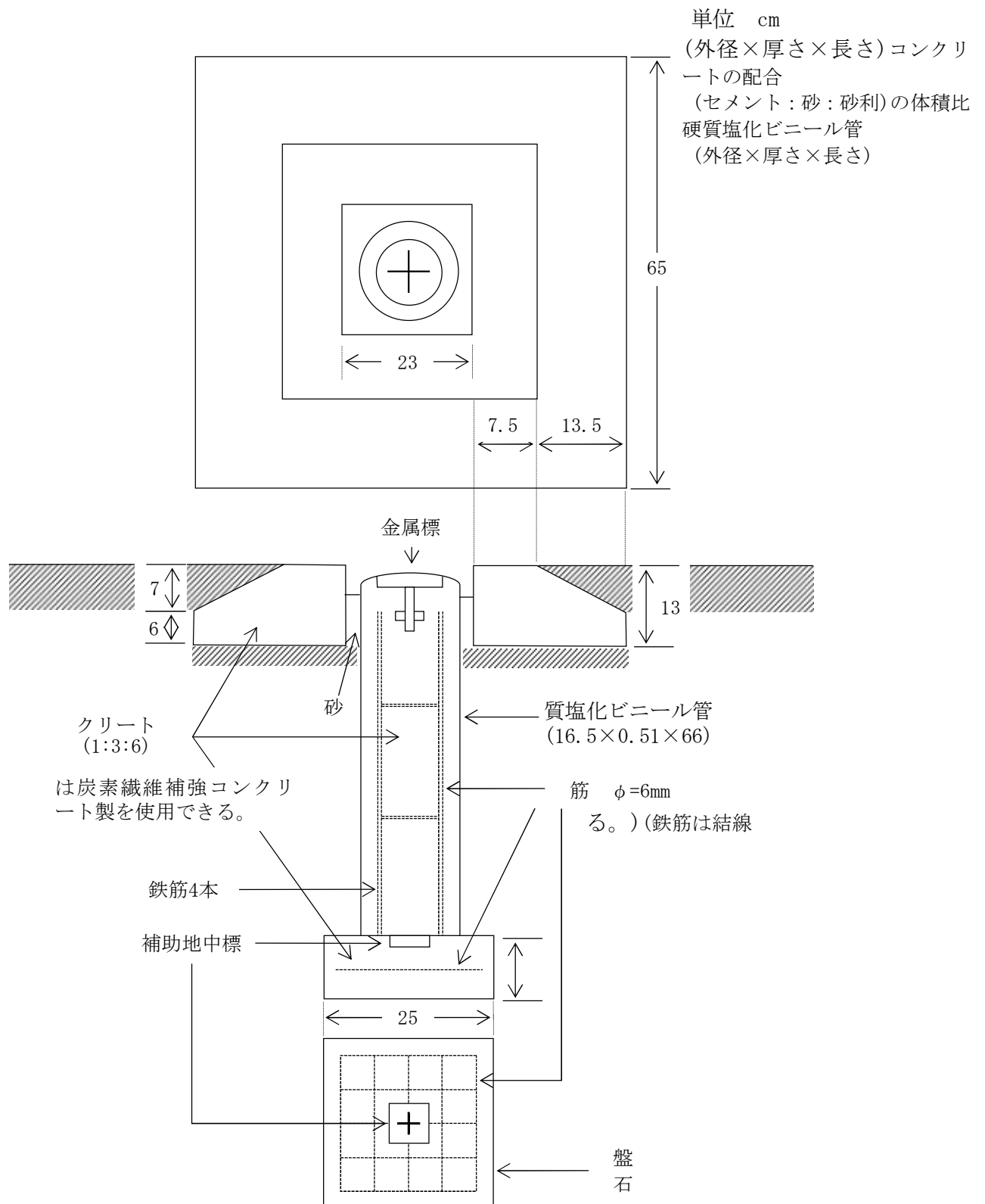
3. 永久標識には、固有番号等の付加情報を記録したICタグを付加することができる。

(2) 標準埋設形式

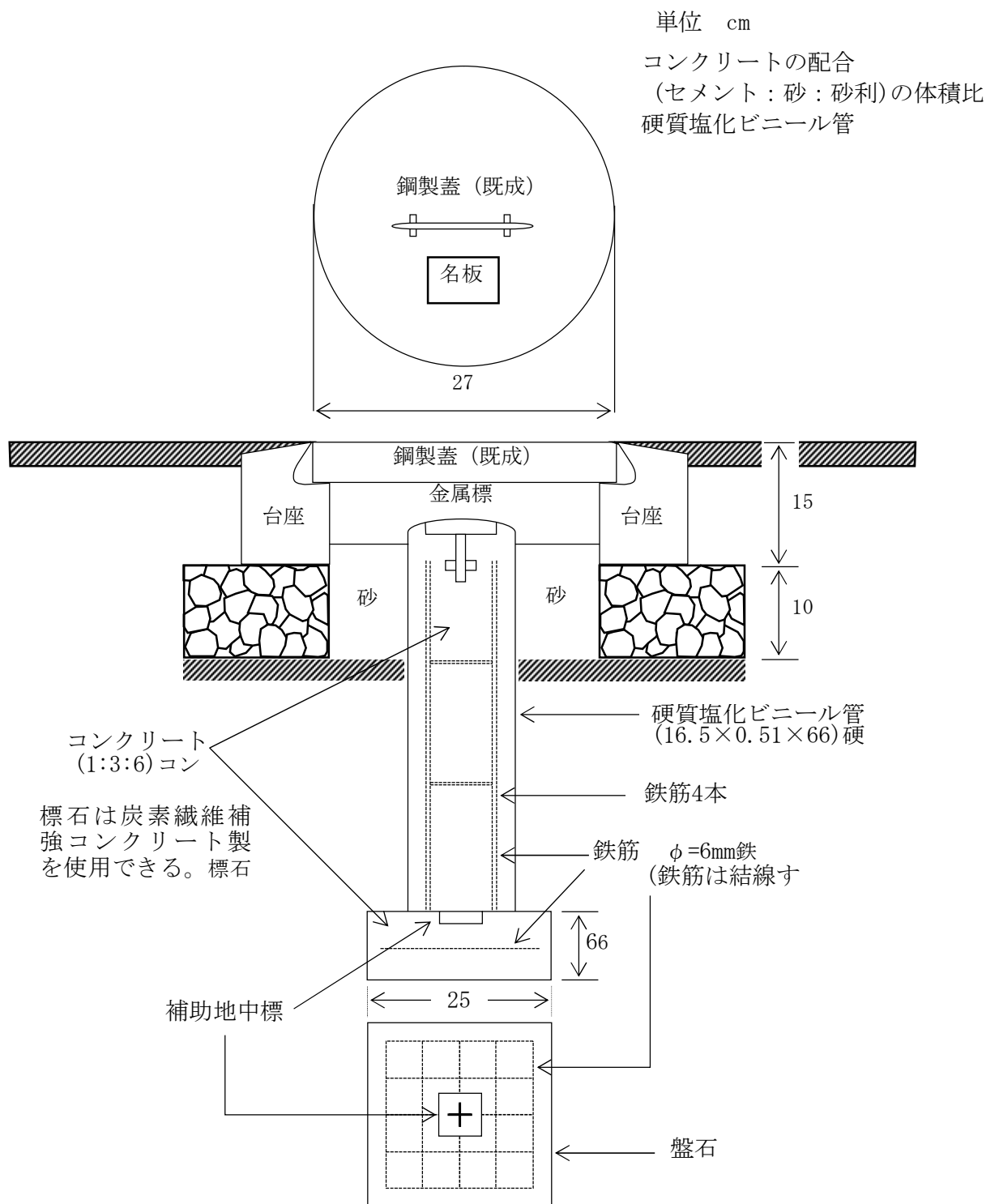
1) 基準点 (金属標) 地上埋設図 (上面舗装)



2) 基準点（金属標）地下埋設図（その1）

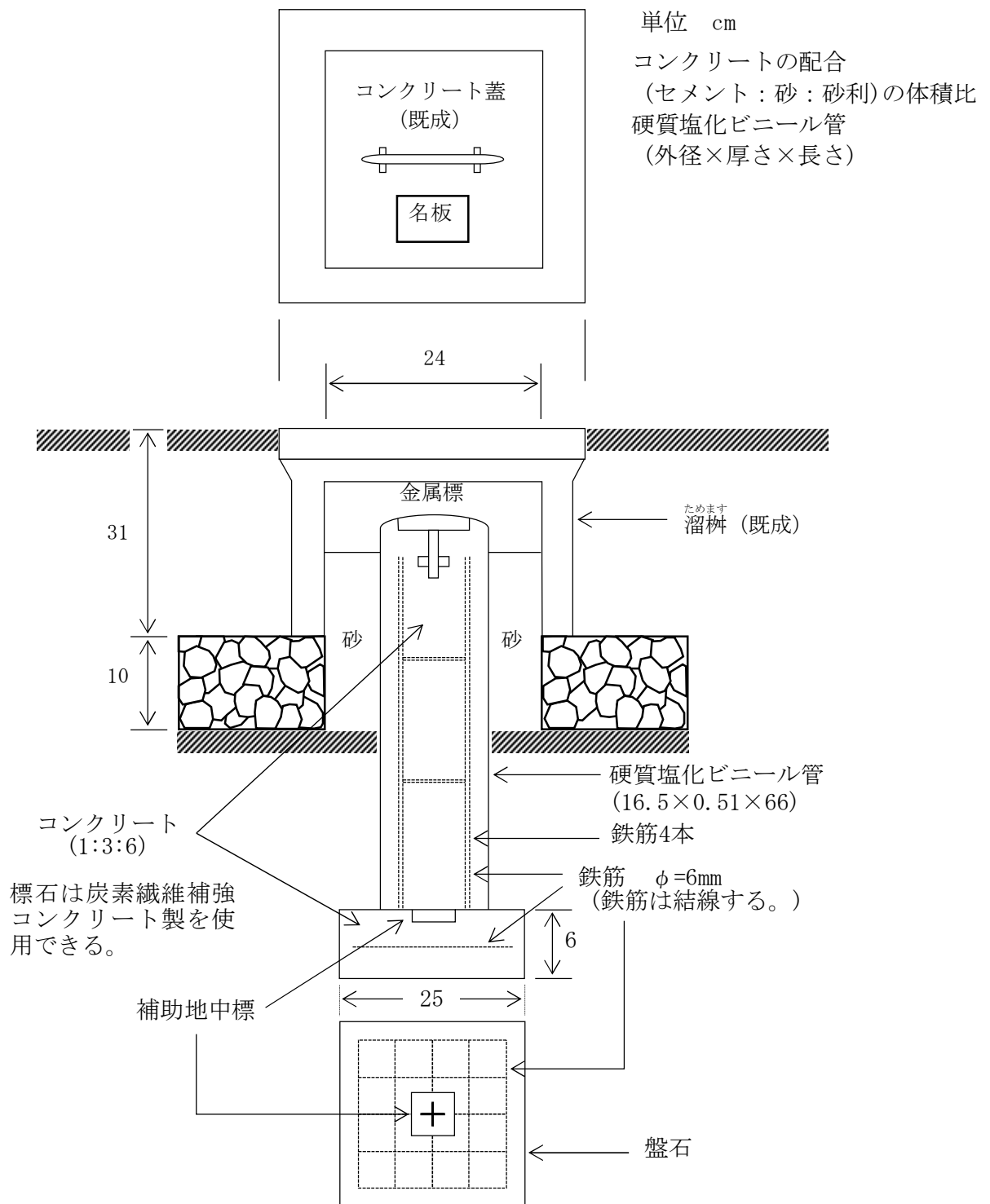


3) 基準点（金属標）地下埋設図（その2） 鉄蓋付き



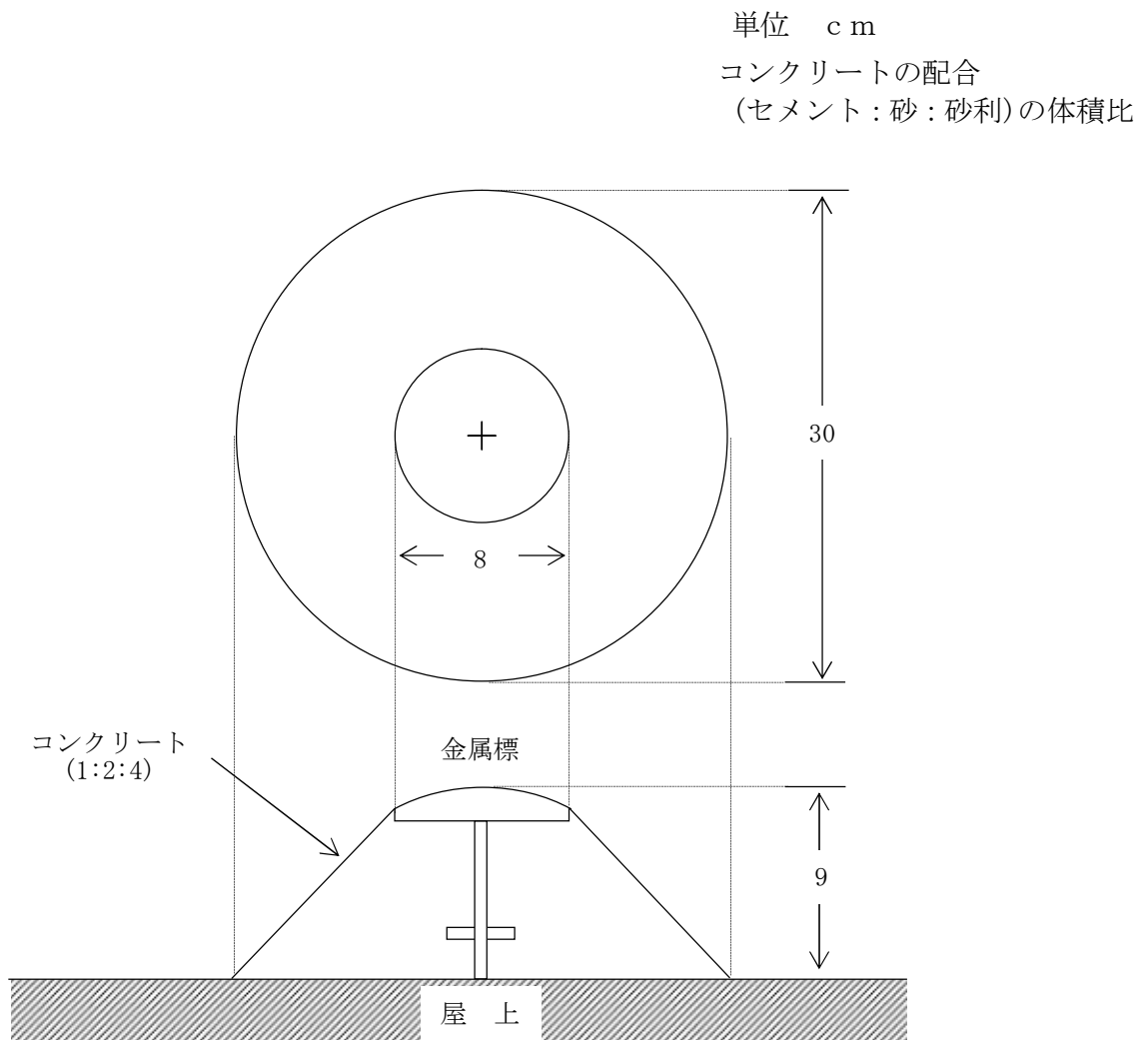
- 注1. 名板には金属標に記載した事項を略記する。
2. 既成の鉄製蓋及び台座は、標石等が正しく収まる大きさのものとする。

4) 基準点（金属標）地下埋設図（その3） コンクリート蓋付き

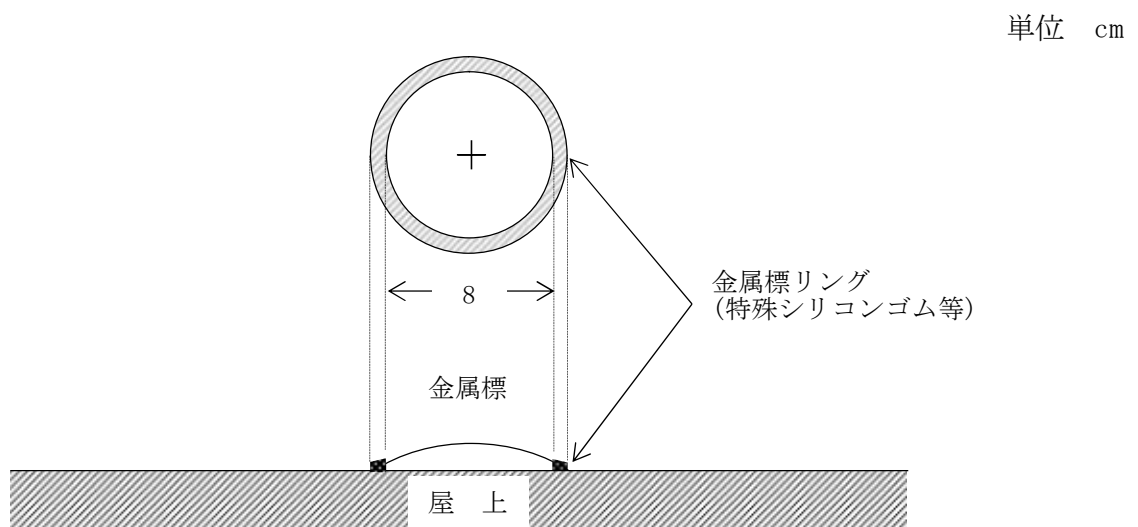


- 注1. 名板には金属標に記載した事項を略記する。
2. 既成のコンクリート蓋及び溜桝は、標石等が正しく収まる大きさのものとする。

5) 基準点（金属標）屋上埋設図（その1）

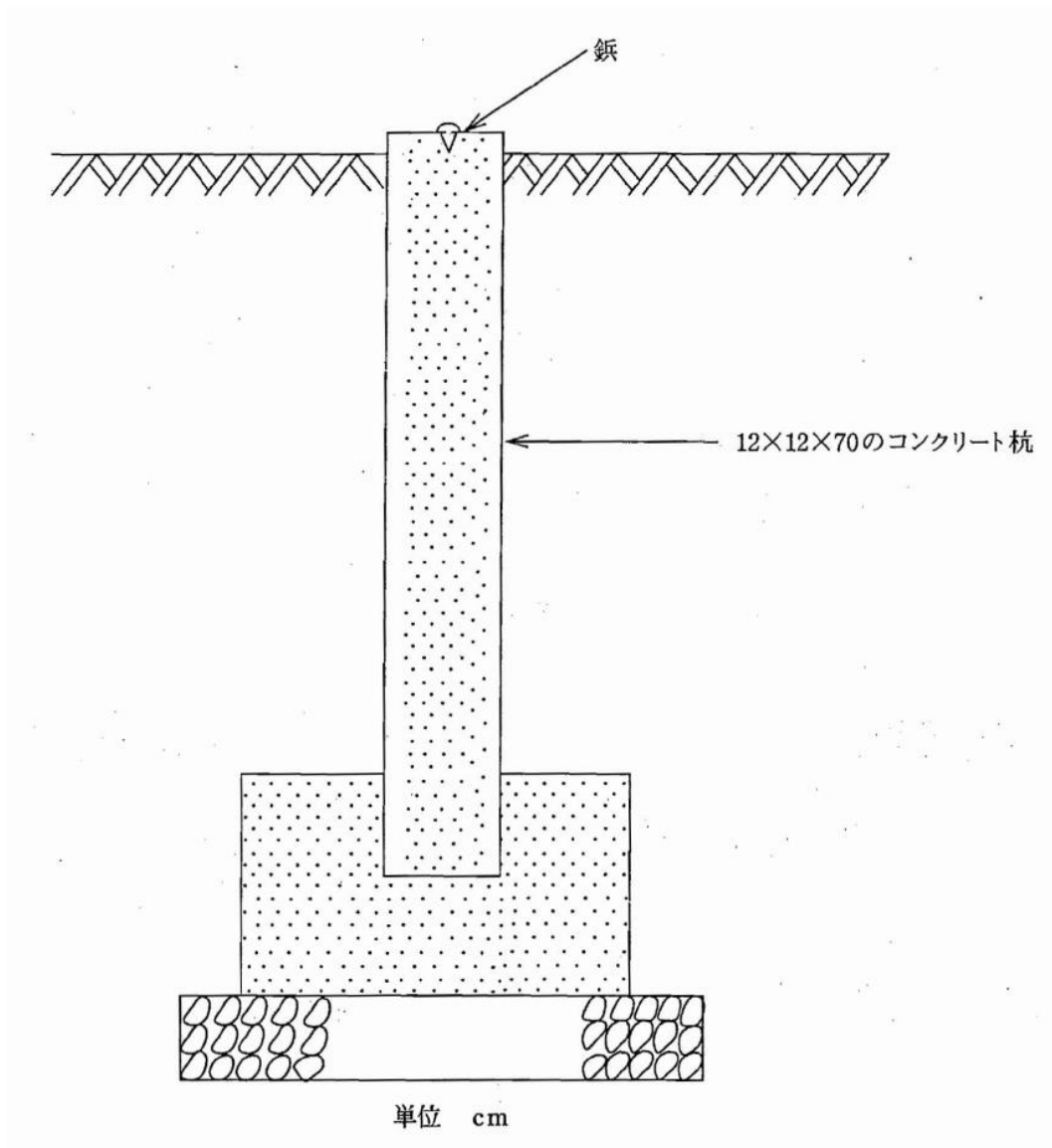


6) 基準点（金属標）屋上埋設図（その2）



注. 屋上面に、接着剤により貼付ける。

7) 基準点（コンクリート杭）3・4級埋設図



注 確定測量において、計画機関が指定したものにあっては、9×9×90のプラスチック又はコンクリート杭を埋設することができる。

8) 水準点（金属標）地上埋設図

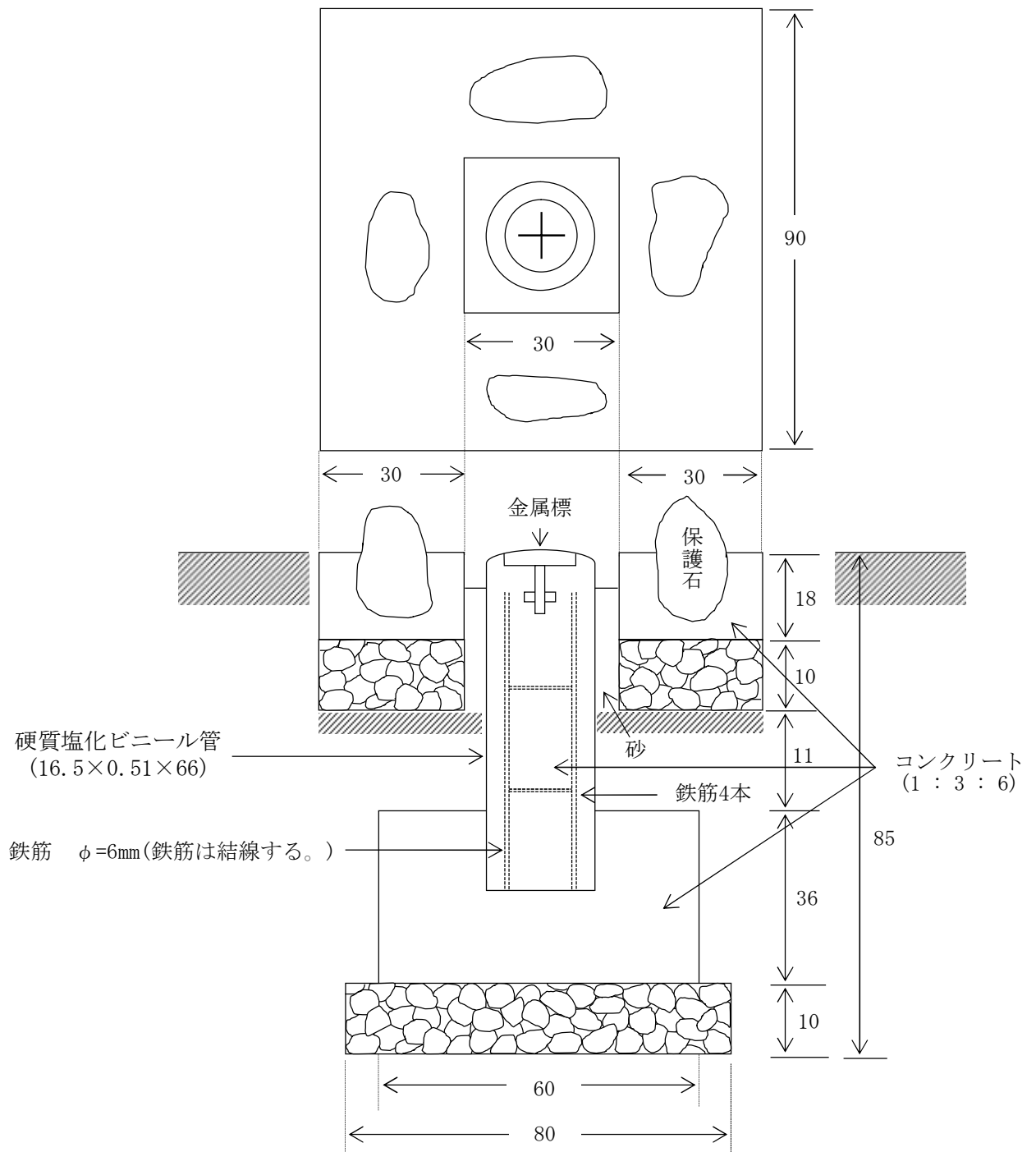
単位 cm

コンクリートの配合

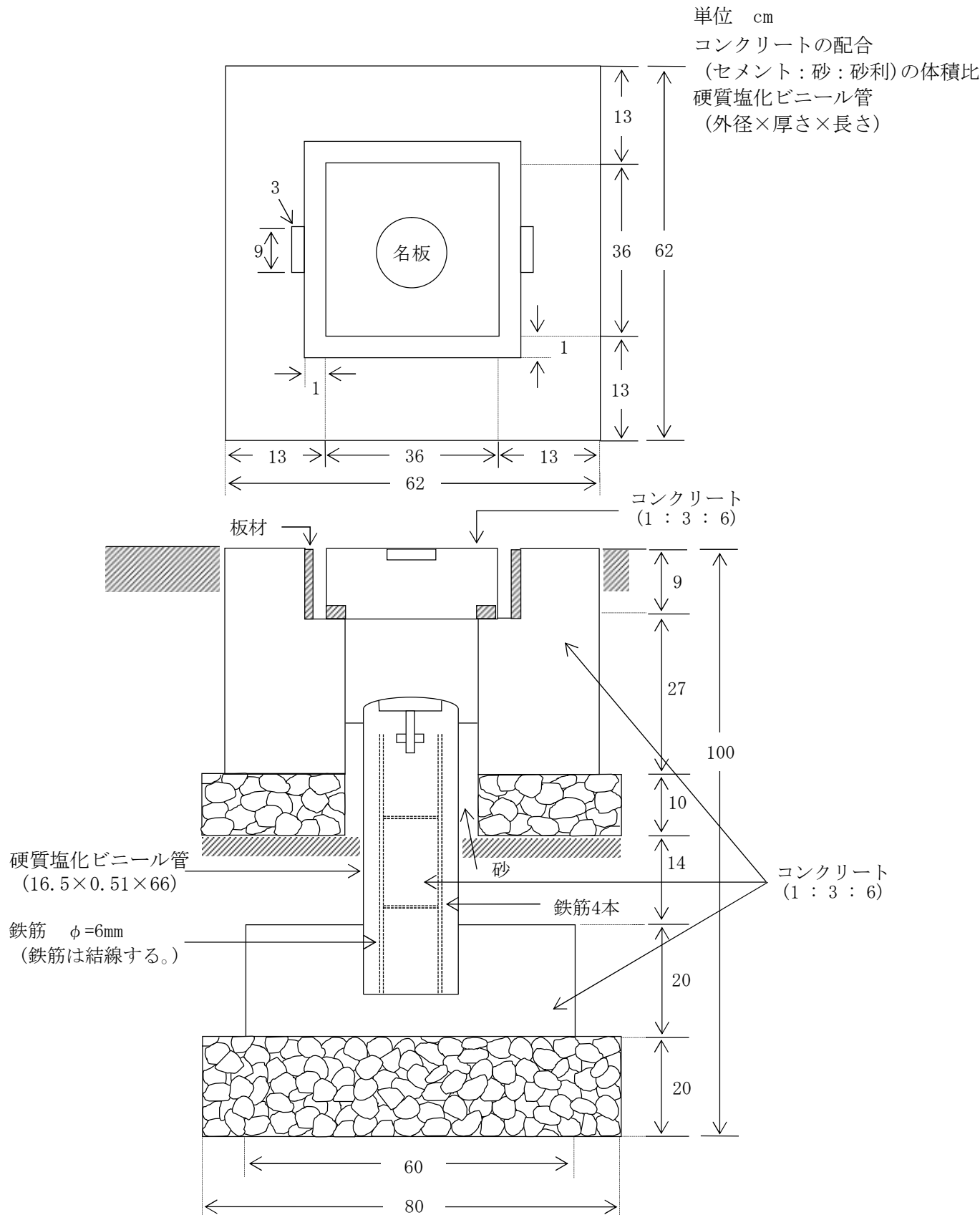
(セメント：砂：砂利)の体積比

硬質塩化ビニール管

(外径×厚さ×長さ)

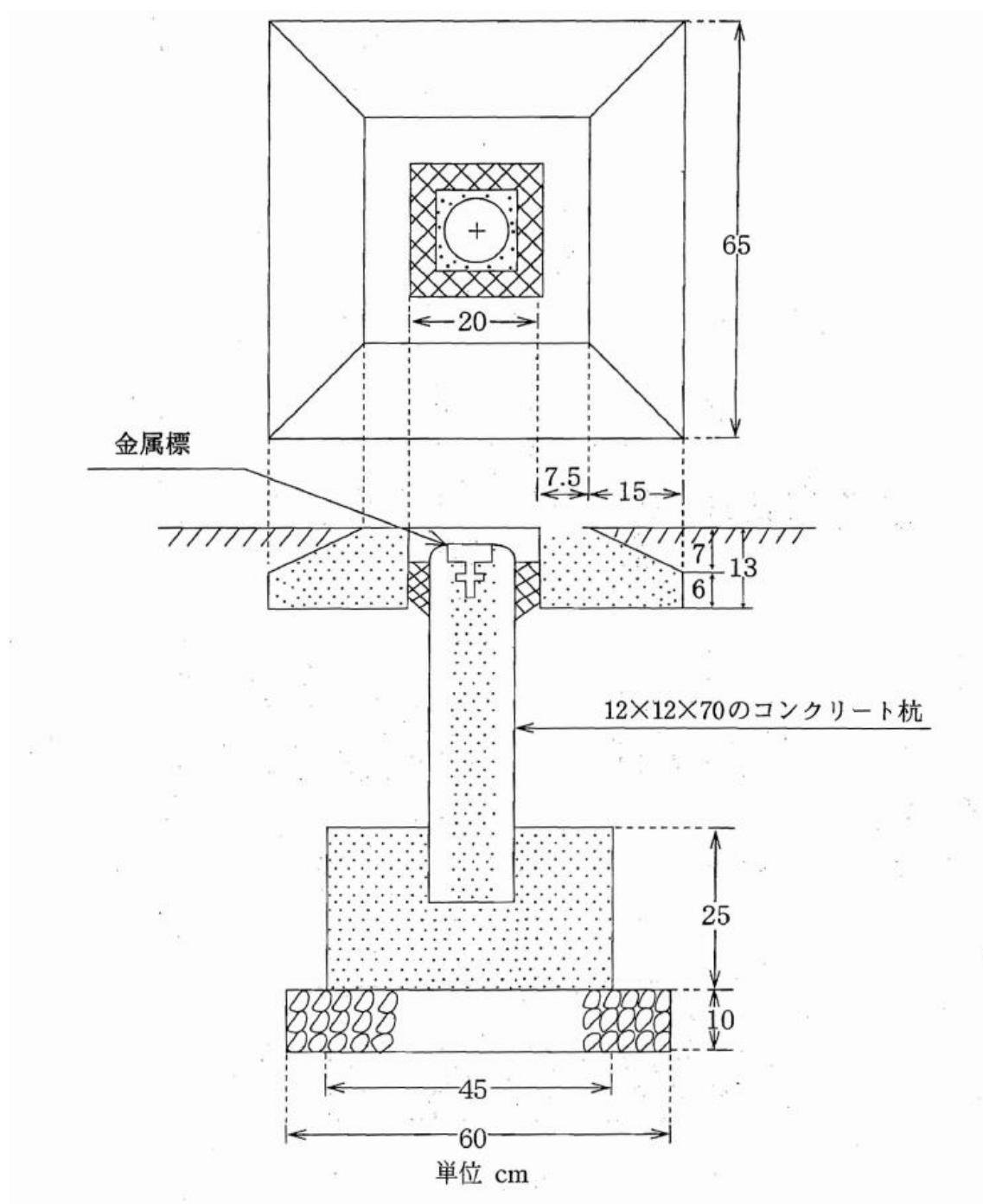


9) 水準点 (金属標) 地下埋設図



注. 名板には金属標に記載した事項を略記する。

10) 水準点（金属標） 3・4級地下埋設図



注 土管（外径15）等を使用したコンクリート杭とすることもできる。

(3) 用地境界杭（境界標識）の規格

第2号様式（第24条の2関係）

境界標識は、コンクリートその他耐久性材料を使用し、大きさは原則 100mm×100mm×600mm とし、上部中心に「+」の表示をする。

ただし、土地の地形、周辺の土地の地形等を考慮して、境界標識の大きさを上部 6 センチメートル角以上の規格のものを定めることができる。

見取り図は、次のとおりとする。

